

優秀賞



設計者

濱田昌範

広島県建築士会、(株)濱田昌範建築設計事務所

戸建住宅(専用)

広島県福山市

軒家 / NOKIYA

構造・階数

木造、一部鉄筋コンクリート造
地上2階建て

敷地面積

179.17㎡

建築面積

69.36㎡

延床面積

87.01㎡

竣工

平成26年6月22日



A

選評

小住宅であるが小住宅に非ず。しかも、住宅の小さな枠も乗り越える可能性をも持つ。赫々たる現代建築である。そう断言するのは、一にも二にもその姿形にある。日本の近代建築の初心が残っていた1950年代の瑞々しい息吹、今は古語になってはいるが、その全体のプロポーシオンにすべては語り尽くされている。

作者はいわゆる地方の設計事務所自営の建築家である。その苦勞は推し量るに並大抵なモノではあるまい。その刻苦勉勵の営為の中から、作者は自邸を作品として立ち上げた。その建築家としての強い意志が、この小住宅を建築たらしめたのである。

平面形は、単純極まる。2階に3.6m × 3.6m 単位(6畳である)を並存させ、どうしても生活に不便極まる台所部分だけをギリギリの寸法で空に飛び出させている。その考えが、そのまま立面に反映されている。水廻りの大半他が地面階に集約され、平面計画上は思い切り合理的である。が、作者はその不便さを超えて、この建築らしさを優先させた。まさに建築家の仕事なのである。

広々と解放された地面は、将来へのさまざまな生活の幅を確保しているのだろう。空に持ち上げられた生活階は近くの川の土手と同じ高さであり、じつに値千金の風が建築に吹き流れる。(石山修武)

